

県八本松町原で水田から林 英明氏が1♀(25.VII.1984)採集していると記録されている。即ち本州の兵庫・岡山・広島県に分布している種ようである。

(高橋)

阪神間でのカミキリ 2 種の採集記録

新 家 勝

相当古い記録であるが、一方は白いカミキリ、もう一方は飛べないカミキリとして注目され、いずれも個体数が余り多くない種であるので、筆者の標本からデータを報告させていただく。

- (1) *Olenecamptus formosanus* Pic タカサゴシロカミキリ

1946.7.9 芦屋市西芦屋町

級友の寺條 勝君が、「きれいなカミキリを採ったのであげる」といつてくれたもの。

- (2) *Parechthistatus gibber* Bates ヒメコブヤハズカミキリ

1974.9.23 西宮市鷺林寺町

筆者の兄新家正俊が散策中に見つけ、変わったカミキリであったので、くれたもの。

ホソオチョウ、神戸市東灘区で採集される

三 宅 隆 三

1990年8月25・26日、神戸生物クラブによる「植物・昆虫・海藻・貝・岩石などの作品鑑定会」が、神戸大丸百貨店東隣の日毛ビル6階ホールで催された。2日目(26日)にホソオチョウ *Sericinus montela koreana* Fixsen が持ち込まれた。関西地方では、はじめての記録ではないかと思われるので報告する。

採集者 倉橋英士（8才、神戸市立本山南小学校3年生）

採集地 神戸市東灘区本山南町3丁目（そえだモータープール）

採集日 1990年4月22日（日）

採集した時の様子

そのモータープールは、（彼の）自宅のすぐ傍で、周囲の草むらにいろいろな虫がやってくる。この日、変なチョウがいるなと思って、素手で捕らえた。見たことのないチョウだったので、翌日は兄の正剛君（14才、神戸市立本山南中学2年生）と連れ立って捜しに言ったが、一匹も見つけられなかった。

この日の鑑定会では、大倉正文（日本甲虫学会）・森和夫（同）両氏も鑑定（同定）・指導に当たっておられたが、「誰かの飼育品が逃げたか、誰かが放したのだろう。放したとすれば、環境条件としては住宅街であり、必ずしも好適地ではない。もう少し北に上がれば六甲山の麓になり、食草となるウマノズクサもそこそこある。そこに運んで、放すだろう。だから、これは、逃げ出した個体の可能性が強い」との結論に至ったが、その確証は何も無い。予断や偏見があってはいけないだけに、今後の採集・目撃情報が待たれる。

兵庫県産珍稀な3種のクビボソハムシの記録

（兵庫県甲虫相資料・239）

高橋寿郎

○ アワクビボソハムシ神戸市内で採集

アワクビボソハムシ *Oulema dilutipes* (Fairmaire) は中国北京産で *Lema* 属で記載された種である (Rev. d'Ent. VII, p.149, 1888).

本種が日本に産すと初めて記録されたのは中條道夫・木元新作両博士により *Hapsidolem* 属として記録された (Niponus, Takamatsu, Vol. 1, No.4:3, 1960). そしてその記録に用いられた標